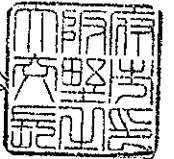


交都道工発第 9号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

交野市長 中田仁公



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（回答）

標記について、平成19年4月2日付け国道企第114号、国土交通省道路局長より依頼のありました件について、別紙のとおり交野市の意見を回答させていただきますので宜しくお願いいたします。

「今後の道路施策や道路整備・管理について」

● 新たな道路施策について

これからの道路施策については、これまで都市計画道路や主要幹線道路を主眼にした補助制度ではなく、各市が道路施策を必要とする地区を定め、その地区の課題や目標を達成するため、(仮称)道路整備重点地区補助を新たな補助制度の創設確立の検討をお願いします。

例えば、各市が抱える道路行政の課題を解決するため、通学路の整備や主要生活道路の拡幅等を行い地区の道路網整備を図る。

また地区単位に舗装等の耐用年数がきているなど、道路の大規模改修についてもフットワークが効く補助制度の確立を図る。

● 幹線市道の整備について

本市は財政が脆弱なことから、国等の補助基準を満足する事業につきましても一般財源の確保が難しい状況であります。

例えば、現在事業しております都市計画道路私部西線につきましても、平成10年から事業認可を受け事業を実施しておりますが、いまだ事業中で17年度実績ではまだ約50%の進捗率となっている状況であります。この整備効果が得られるには、まだ相当な年月を要し沿道住民にも長期間のご迷惑をかけております。

また、駅周辺や主要公共施設等を結ぶ市街地の道路整備につきましても、同様に補助採択基準や財源確保等のハードルが高く、特に歩行者の安全を図る歩道設置を含め道路整備が遅れている状況であります。

今後、特定財源の見直しに関しましては、本市と同様な財政が厳しい市町村に十分配慮していただき、その地域が必要とする道路整備等につきましても、これまで以上に柔軟な補助制定が確立され、それに必要な財源が確保されるよう強く要望いたします。

● 主要地方道の優先整備について

第二京阪道路の事業が進むなか、アクセス道路として大阪府が整備しております府道枚方大和郡山線につきましても、第二京阪道路から市道私部郡津線附近までを第二京阪道路の供用にあわせ整備することとなっておりますが、府道枚方交野寝屋川線までの数百メートルの区間につきましても、整備時期が未定となっております。第二京阪道路の供用にあわせ、その区間も優先的に道路整備されるよう強く要望いたします。

また当該道路と接続する市道私部春日線につきましても、第二京阪道路への乗り入れ車両が増えることが想定されることから、交野市駅方面から右折及び枚方方面から左折ラインの整備を強く要望いたします。

併せて、アクセス道路都市計画道路天の川磐船線につきましても、府道交野寝屋川線から第二京阪道路の間につきましても、供用にあわせ整備が進められておりますが、府道交野久御山線までの区間も引き続き早期整備が図られるよう強く要望いたします。

●道路特定財源の一般財源化について

道路特定財源の一般財源化にあつたては、本市のように財政が脆弱な市町村にたいしましては、これまで以上に地区の道路整備が遅れることのないよう、十分な財源の確保を強くお願いいたします。

なお、道路特定財源の余剰分が一般財源として使われる場合には、燃料のバイオ化、街路樹の剪定・堆肥化などの環境改善策や福祉・弱者の視点に立ったTDM促進策（公共交通機関のバリアフリー整備、公共交通機関へのアクセス整備）、防災対策（木造密集市街路の拡幅等）に充てるなど、石油資源の延命化や、今後の代替輸送にも寄与する施策に充当されるよう強くお願いいたします。

以上